

日本アフリカビジネスフォーラム 2014 の開催について

1 背景、趣旨

- 昨年6月のT I C A D Vにおいては、日本とアフリカにおいて「民間主導の経済成長の促進」が共通の優先課題として確認され、アフリカ民間セクターの発展支援、それを支えるインフラ整備、農業、環境、保健・医療・滋養、教育・人材育成などの分野別において今後ODAを優先的に投入してアフリカ支援プロジェクトを推進するとともに、日本の民間企業がアフリカとの投資・ビジネスを積極化して、アフリカとのビジネスパートナーシップを強化していくことにより、アフリカの成長、発展にビジネスを通じて大きく貢献していくことの重要性が確認された。
- 安倍総理は本年1月にアフリカ諸国（コートジボアール、モザンビーク、エチオピア）を訪問。日本のビジネスリーダーが多数同行し、総理自ら日本とアフリカのビジネスパートナーシップの強化を積極的に支援。AU（アフリカ連合）本部においては『「一人、ひとり」を強くする日本のアフリカ外交』と題する政策スピーチを行い、その中において、日本企業は従業員やパートナーとなるアフリカ人にも「一人、ひとり」に力をつけてもらい、創意を引き出すようなビジネスを行うことによりアフリカが本来備わる力をテコに伸びていくための触媒となりうることを強調し、アフリカの方々に対して「日本と、日本企業と深くつきあって下さる」ことを呼びかけるとともに、日本企業には、「アジアへの日本企業進出を通じて織り上げた成長のタペストリーを今度アフリカの思い切り明るい色の糸を使って紡いでいただきたい」と、アフリカとのビジネス・投資やアフリカ進出を通じてアフリカの「Robust」「Sustainable」「Inclusive」「Green」な成長に貢献していくことを呼びかけられた。
- 21世紀に入って顕在化しつつあるアフリカの変貌と成長の開始を受けて、日本企業のアフリカとのビジネス、投資は徐々に盛り上がりを見せているが、このような流れは、T I C A D Vを経て、日本のアフリカ開発・成長支援策においても積極的に奨励、支援されるようになってきている。
- このような中、T I C A D V、安倍総理のアフリカ訪問をフォローアップして日本とアフリカとの間のビジネスパートナーシップの一層の拡充に貢献すべく、今般在京アフリカ外交団（ADC）の呼びかけ・提案により、T I C A D Vの一年後にあたる本年6月に、東京において第一回アフリカビジネスフォーラムを開催する準備が関係者によって進められている。

2 日本アフリカビジネスフォーラムの開催要領

- 会議名称：日本アフリカビジネスフォーラム2014
- テーマ：「アフリカで成功する：拡大し続ける成長と機会」
- 日時：2014年6月10日（火）－11日（水）
- 主催：在京アフリカ外交団（ADC）、アフリカ開発銀行
- 共催：JICA、ジェトロ
- 後援（予定）：財務省、外務省、経済産業省、農林水産省、（一社）日本経済団体連合（順不同）会、（公社）経済同友会、（独）石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）、（株）国際協力銀行（JBIC）、国際連合工業開発機関（UNIDO）、国連開発計画（UNDP）、世界銀行グループ、（一社）アフリカ協会、（一財）アライアンス・フォーラム財団、アフリカビジネス振興サポートネットワーク（AB-NET）
- 協賛（予定）：アフリカビジネスに関連する主要日本企業
- 企画・運営：日経ビジネス企画・編集センター
- 会場：イイノホール（約500名収容）
- 関連イベント：
 - 6月10日（火） レセプションパーティー
 - 6月11日（水） 経済同友会メンバー等との朝食会
 - 6月11日（水） アフリカ協会及びアフリカ開発協会主催レセプション
 - 6月12日（木） 東アフリカ共同体ビジネスセミナー
 - 6月12日（木） アフリカBOP・Inclusive ビジネスに関する特別セミナー
 - 6月13日（金） EPSAに関するセミナー

3 本フォーラムの特徴

本フォーラムは、以下のような特徴をもって企画、運営、進行される。

（1）日本とのビジネスパートナーシップの拡大に関心をもつアフリカの主要財界人およびアフリカ側の「民間セクター開発」「産業・投資振興」関係者が多数来日し、アフリカとの間でビジネス、投資を行っている日本企業および今後のビジネス展開を考えている日本企業の代表者や、アフリカビジネス・投資の支援をサポートする関係者が一同に会する場を設ける。

（2）アフリカ側からは「日本の積極的な参入が期待される分野や地域」における「最近のビジネスの進展状況やビジネスチャンス」について紹介をうけ、日本側からは「アフリカで活躍している日本企業の活動状況や今後の方向性」を紹介する。

(3) 同時に、「アフリカでより一層積極的なビジネス・投資を行う上での課題や解決方法」や「アフリカと日本とのビジネスパートナーシップを一層強化するための創造的なアイデア」などについて議論する。

(4) 本フォーラムの開催を通じて、日本とアフリカとの間で新たなビジネスやパートナーシップが生まれていく上での、創造的なアイデアや具体的なきっかけが生まれ、ビジネスマッチングが進んでいくよう、経団連や経済同友会等の協力を得て、日本・アフリカビジネス関係者の出会いの場が多数設けられるような会議、関連イベントの運営を行っていく。

4 プログラム (案)

6月10日(火)

- (1) オープニングセッション (9:00-9:30)
- (2) 基調パネル ―アフリカで成功する：拡大し続ける成長と機会―
(9:30-10:00)
- (3) 全体会議1 エネルギーとインフラ (10:05-12:30)
 - ― エネルギー、電力及び天然資源分野のビジネス (10:05-11:15)
 - ― 道路・交通、都市・社会インフラ等 (11:20-12:30)
- (4) ネットワーキングランチレセプション (12:30-13:30)
 - ― アフリカ若手企業家の紹介
- (5) 全体会議2 農業関連ビジネス (13:45-14:55)
- (6) 日本からのプレゼンテーション (15:00-15:30)
「アフリカの経済・産業高度化に向けた日本企業の貢献」(1)
- (7) 全体会議3 健康なアフリカ (15:45-16:55)
 - ― 医療・医薬品
 - ― 保健・公衆衛生
 - ― 滋養 等
- (8) 全体会議4 リスクへの対応と管理 (17:00-18:10)
- (9) レセプションパーティー (招待制) (19:00～)

6月11日(水)

- (1) 日本からのプレゼンテーション (9:30-10:00)
「アフリカの経済・産業高度化に向けた日本企業の貢献」(2)
- (2) 全体会議5 ファイナンス：投資価値と資金調達 (10:30-11:30)
 - 金融セクター
 - 直接投資やファンドを通じた投資
 - 開発をサポートするファイナンスとビジネス等
- (3) 全体会議クロージングスピーチ (11:30-12:00)
- (4) 午後のセッション

「アフリカ地域別のビジネス・投資機会」(13:00-18:00)
 - 西アフリカ (13:00-14:00)
 - 北アフリカ (14:00-15:00)
 - 中央アフリカ (15:00-16:00)
 - 南部アフリカ (16:00-17:00)
 - 東アフリカ (17:00-18:00)
- (5) 並行開催
 1. ビジネスパートナーシップセミナー (12:30-18:00)
 - アフリカ企業による自社のプレゼンテーション
 - アフリカ政府関係者による自国の投資機会等についてのプレゼンテーション
 - 日本企業のアフリカビジネス、プロジェクトに関するプレゼンテーション
 - アフリカビジネス振興に関連するテーマ、トピックに則したプレゼンテーション(2つの会場を準備し、各プレゼンテーション枠は30分として時間配分)
 2. ビジネスマッチング会場の設営

5 東アフリカ共同体ビジネスセミナー

- (1) 日時：6月12日（木）9：15－11：45
- (2) 場所：航空会館 501－502号室
- (3) 主催：国連工業開発機関（UNIDO）、アフリカ開発銀行
- (4) 内容：アフリカの地域経済共同体（RECs）の中で、東アフリカ共同体（EAC）は、域内関税の撤廃、対外共通関税の導入、モノ・人・労働・サービス・資本の自由な移動や事業設立の保障などの分野で共通市場化が開始され、域内統合が確実に進展している。本セミナーでは、EACの主要企業の代表者で構成する東アフリカ・ビジネス・カウンシル（EABC）から各国の民間企業代表を招聘し、関税同盟と共通市場化により実際にビジネス環境がどのように変化し、今後どのような可能性があるのかという点について、実例や課題を交えながらパネル討論を行う。

6 特別セミナー

BOP/インクルーシブビジネスの最前線—アフリカにおけるイノベーション—

- (1) 日時：6月12日 13：30－17：30
- (2) 場所：国連大学 大会議場
- (3) 主催：UNDP駐日代表事務所、アフリカ開発銀行、JICA
- (4) 内容：アフリカにおいて、日本人・日本企業によってとりくまれつつある、いわゆるBOP・Inclusive ビジネスについて、今回はビジネスモデル確立のための企業家としての創意工夫に着目し、

- ① 貧困層を含めたアフリカでの大衆に受け入れられるような独創的な商品の開発・提供
- ② アフリカ産の素材を、工夫により付加価値を高めて日本や欧米・アジアに紹介
- ③ 農業、保健・医療・衛生・滋養、環境、人材育成・教育など、従来ODAによる公的支援事業が主流だった開発支援事業分野に、起業家精神ビジネスの手法を活かした事業モデルを構築しての参入

などのビジネスモデルの紹介を行うとともに、このような事業が、長期にわたって継続可能になり、開発に貢献するインパクトを創出するとともに、収益もあげ得るような事業として成功するための条件や支援策のあり方についてパネルによる討論を行う。

7 E P S Aに関するセミナー（E P S A : Enhanced Private Sector Assistance for Africa
アフリカの民間セクター開発のための日本政府とアフリカ開発銀行の共同イニシアチブ）

- (1) 日時：6月13日 10:00-13:00
- (2) 場所：JICA研究所
- (3) 主催：JICA、アフリカ開発銀行
- (4) 内容：安倍総理のアフリカ訪問に際して、2017年までの円借款による協力額を1000億円から2000億円に倍増することを表明されたE P S Aについて、スキームの内容、これまでの実績、今後の日本企業の参加方法に関する説明会を開催